

新しい台東

新しい台東社
台東区千束2-18-1
7高井方
Tel. 6795-0245

豊かな台東区の国保財政

23区でも少ない実質赤字 値上げの根拠なし

台東区は国民健康保険料を抑制するための一般会計からの国保会計への繰入金をなくす方針を打ち出しました。際限のない保険料値上げにつながる暴挙です。しかし区の国保会計水準は23区でも上位です。

政府は、国民健康保険の財政運営が都道府県に移行することに伴い、保険料抑制のための一般会計からの繰入金をなくすことを自治体に促しています。23区区長会と台東区は6年かけてなくす方針を打ち出しました。これに対し、千代田区・中野区・江戸川区は足並みをそろえませんでした。現在でも国保料が高すぎ、台東区の加入者の3人に1人が納期限に納められない事態が全くと、台東区は

せん。今年度第一回の補正予算は保険料率が決まり、それに基づき値上げした保険料収入が3億6千万円増えました。そのため予定していた繰入金を5億6千万円も減らし、4億8千万円になりました。年間10数億円から20億円(表1参照)投入してきた繰入金が激減したのです。当初予算通り繰入金を計上すれば値上げの必要はありませんでした。ここ数年の国保会計決算をみると、台東区はいわゆる国保会

計の法定外繰入金も23区でも多い区の一つです。しかし収支差額(繰越金)は「黒字」額も多額であり、28年度を除けば「赤字」と「黒字」の差である「実質赤字」は2〜4億円程度です(表1)。その結果、平成26年度と27年度の水準をみると、表2のとおり、一人当たりの「赤字」は、黒字の千代田区は例外ですが、常に23区

(表1) 台東区の国保会計 (単位: 億円)

会計決算年度	「赤字」 (法定外繰入金)	「黒字」 (収支差額)
平成25年度	20.5	18.2
平成26年度	17.2	15.4
平成27年度	16.8	12.2
平成28年度	20.4	7.8
平成29年度 (最終補正予算)	13.6	10.9

(表2) 23区国保会計における1人当たりの「実質赤字」が少ない区ベスト5 (単位: 円)

順位	26年度	27年度
1	千代田区(+23,917)	千代田区(+29,610)
2	港区(-3,988)	港区(-5,408)
3	台東区(-8,425)	品川区(-7,900)
4	江東区(-10,035)	渋谷区(-14,969)
5	目黒区(-10,182)	台東区(-15,647)

(表2の計算式) 繰越金 - 法定外繰入金
一人当たり「実質赤字」 = $\frac{\text{繰越金} - \text{法定外繰入金}}{\text{被保険者数}}$

◆4月15日(日)

休日診療当番医

- 《内科》 梅沢医院 千束2-20-2 (3872)8230
- 《内科》 上野医院 上野2-11-10 (3832)0076
- 《歯科》 佐藤歯科医院 浅草6-38-5 (3874)0861
- 《薬局》 はるか薬局 千束2-19-2 (5824)8921

☆診療時間は、内科 9~22時、歯科 9~17時です。
☆こどもクリニックは、9~22時 永寿総合病院 小科医が診察します。

アベ改憲ノー3000万署名

4日、日本共産党は、御徒町駅吉池前で、財務省の文書改ざん、自衛隊の日報隠蔽を厳



しく糾弾すると共に、アベ改憲ノーの3000万署名(写真⑤)に取組みました。上の写真は、訴える田村智子参議院議員・党副委員長(写真⑥)と左に小高あきら、右に鈴木のぼる両区議。

中ベスト5に入る少な帯の第三子以降の均等割を無料にすることなど、容易にできません。台東区はやる気になやれるのにやらない区め、懸案である多子世長の姿勢は問題です。